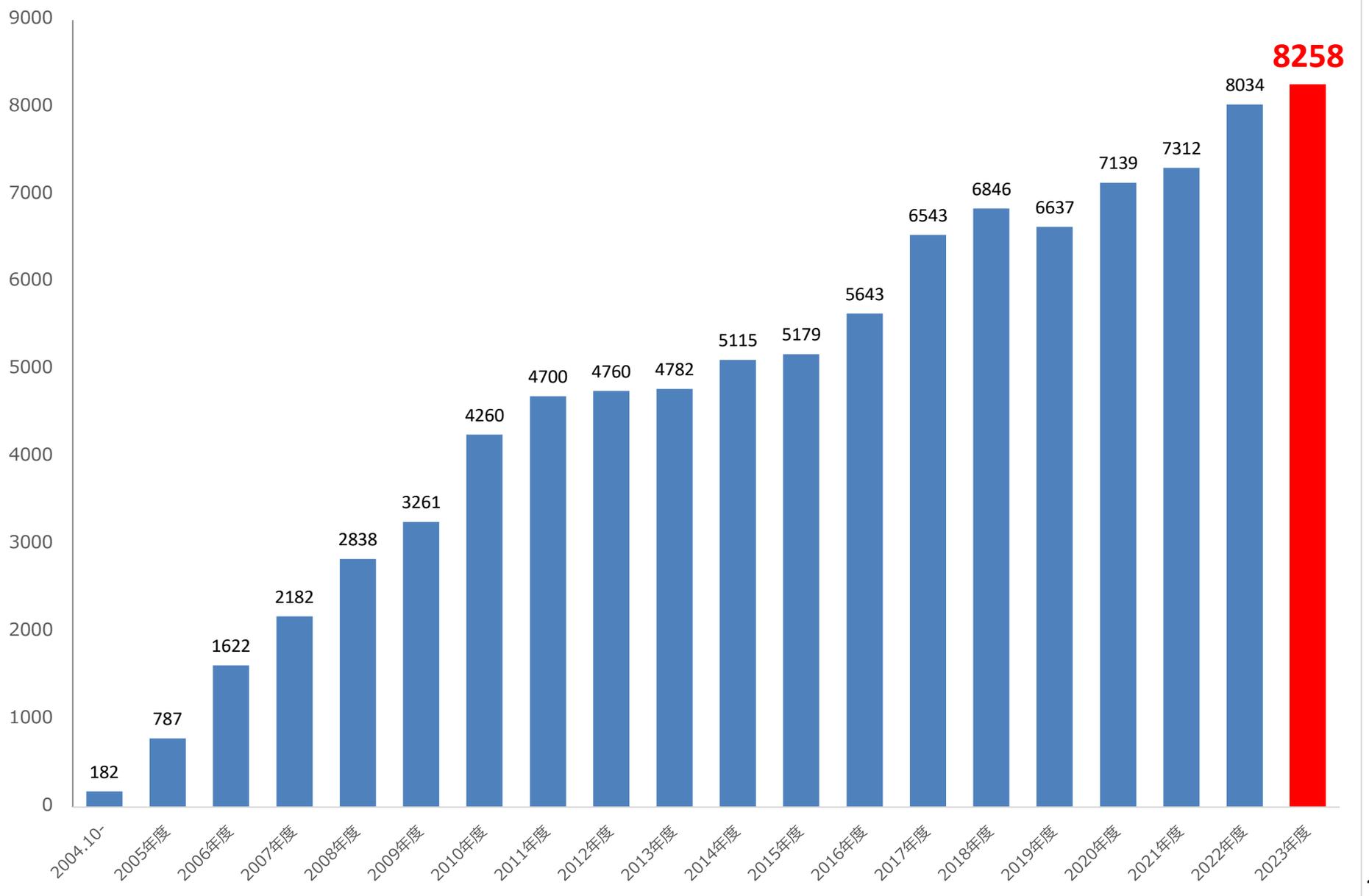


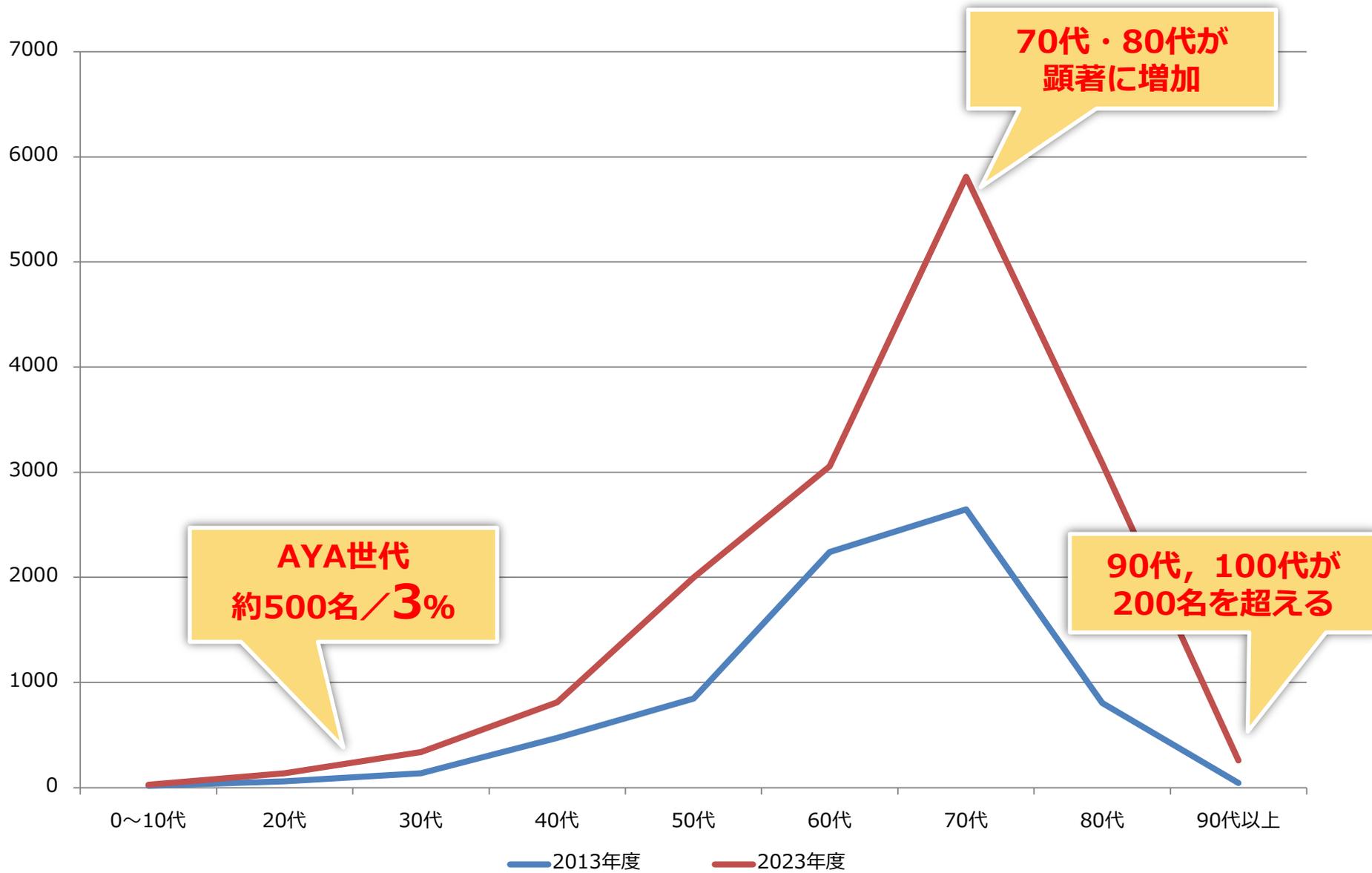
国立がん研究センター東病院における相談支援

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院
サポート・ケアセンター／がん相談支援センター
坂本 はと恵 (hasakamo@east.ncc.go.jp)

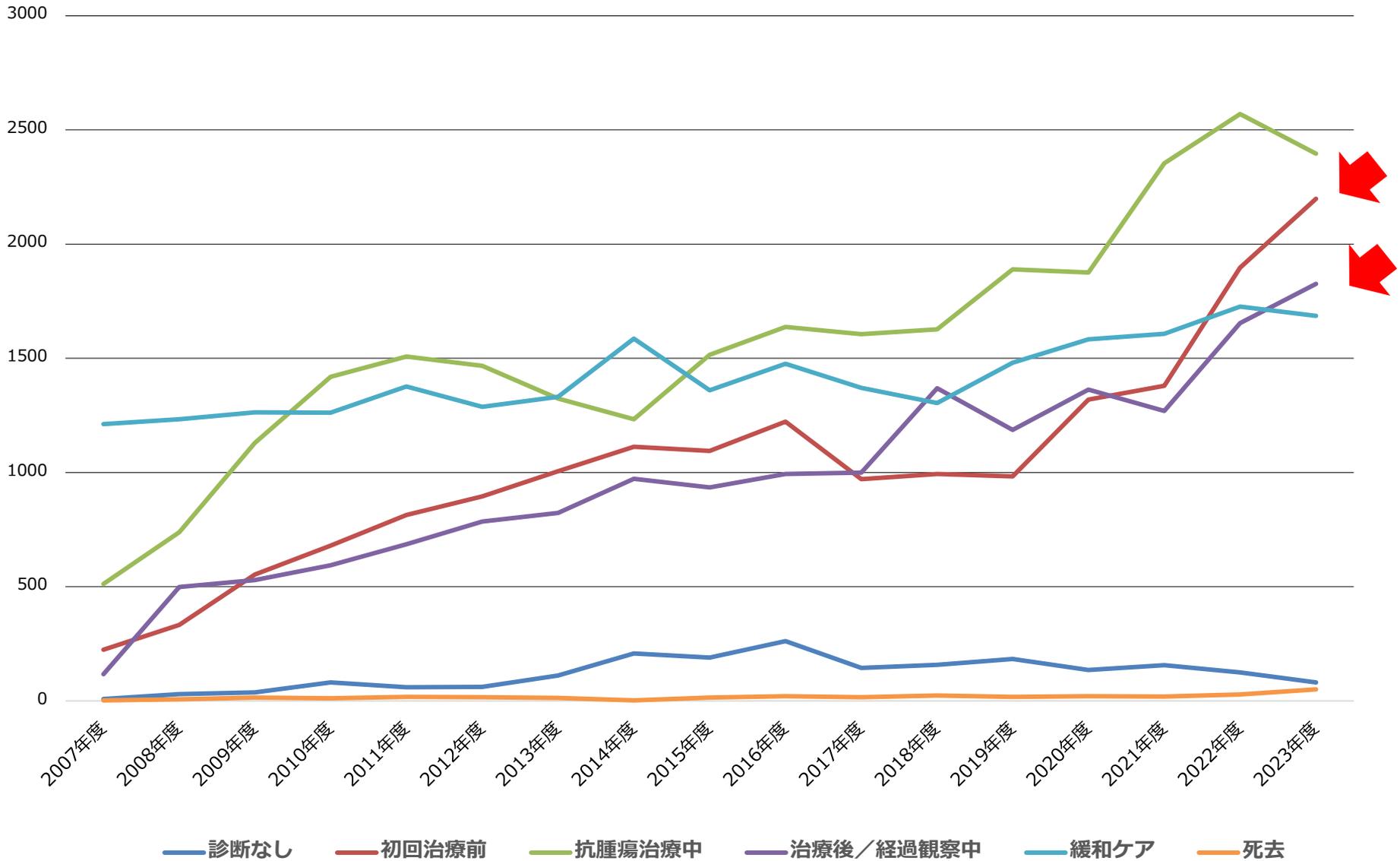
新規相談者 年次推移



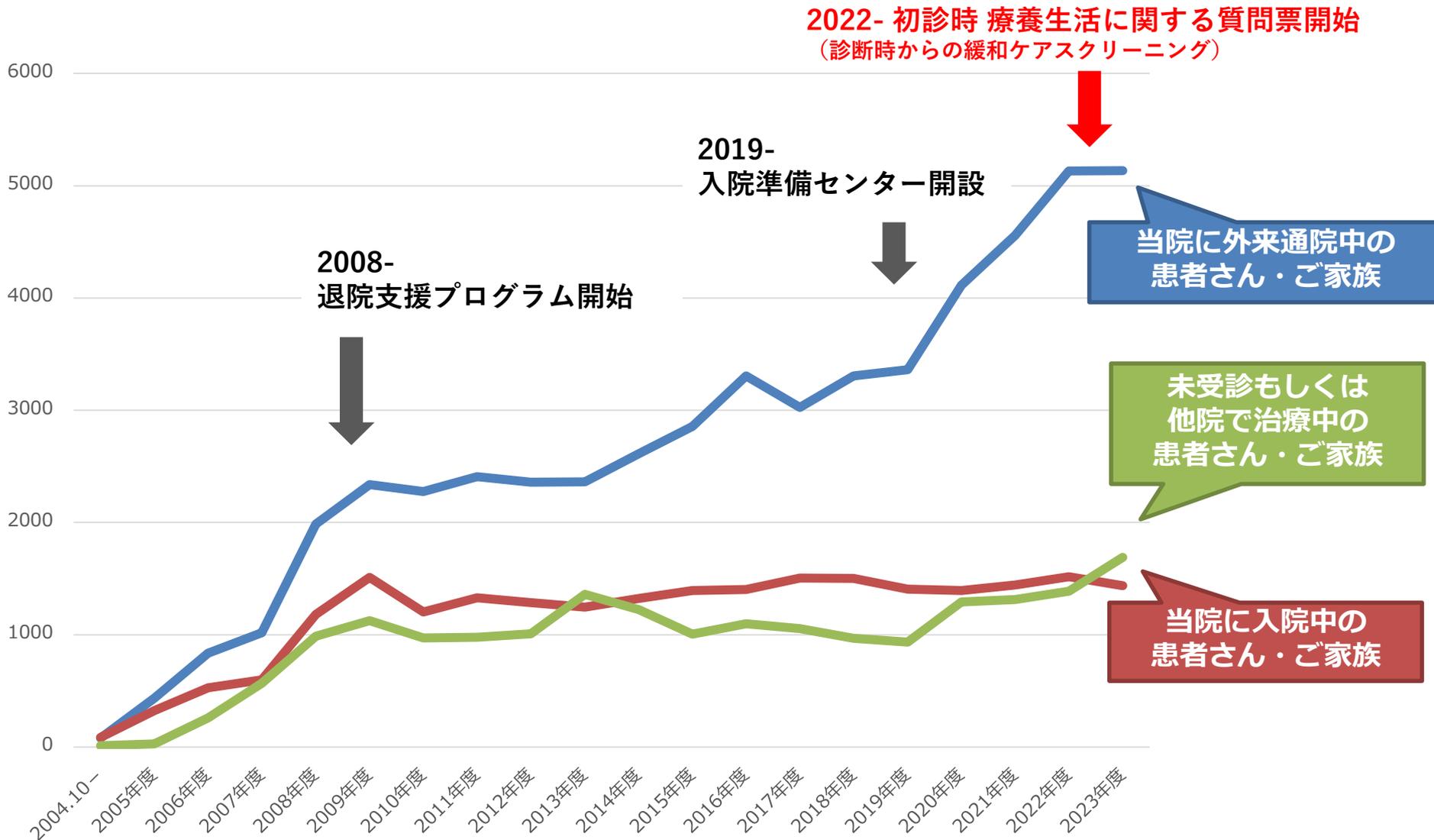
相談者の年齢 推移



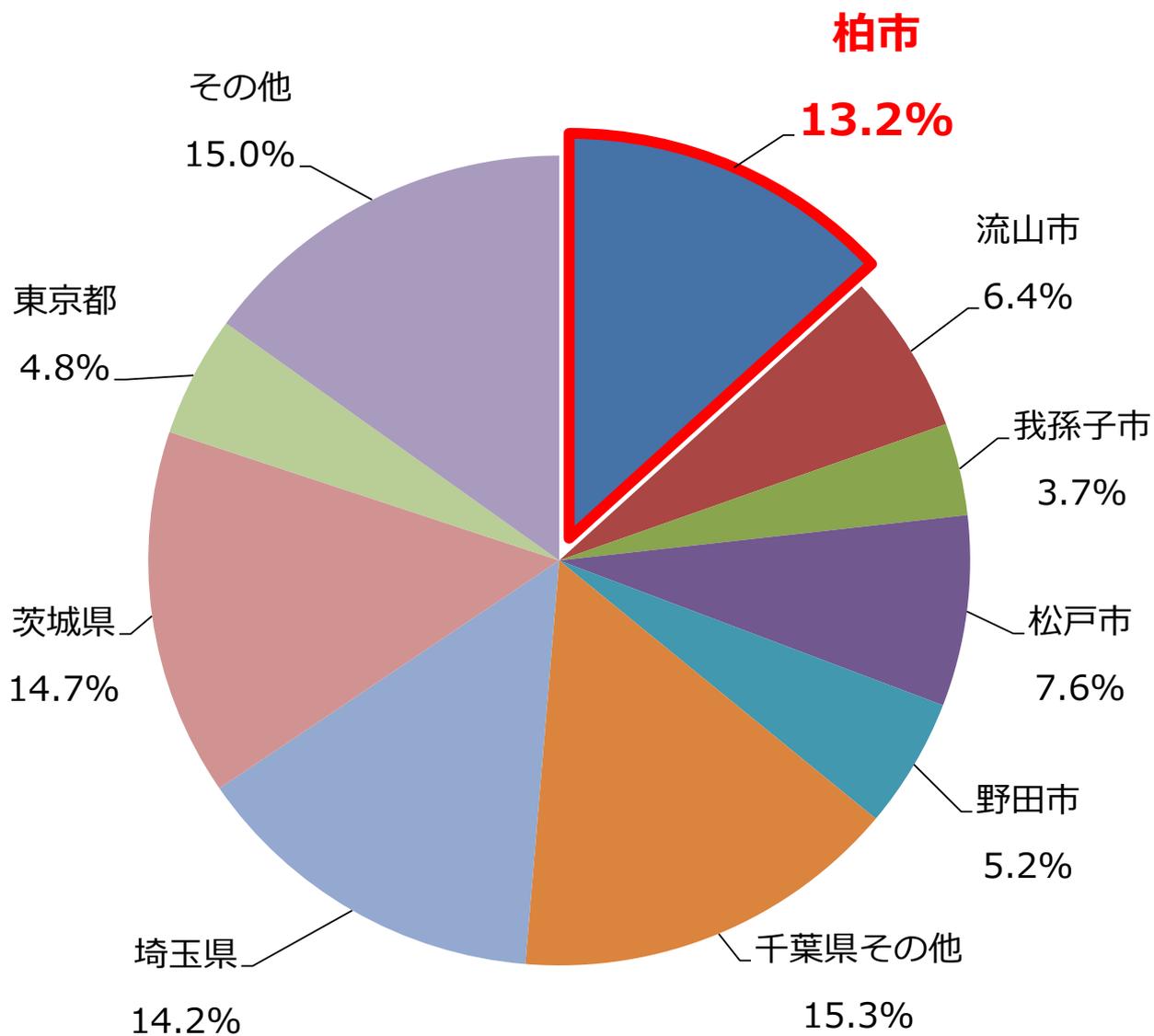
初回相談時の治療状況 推移



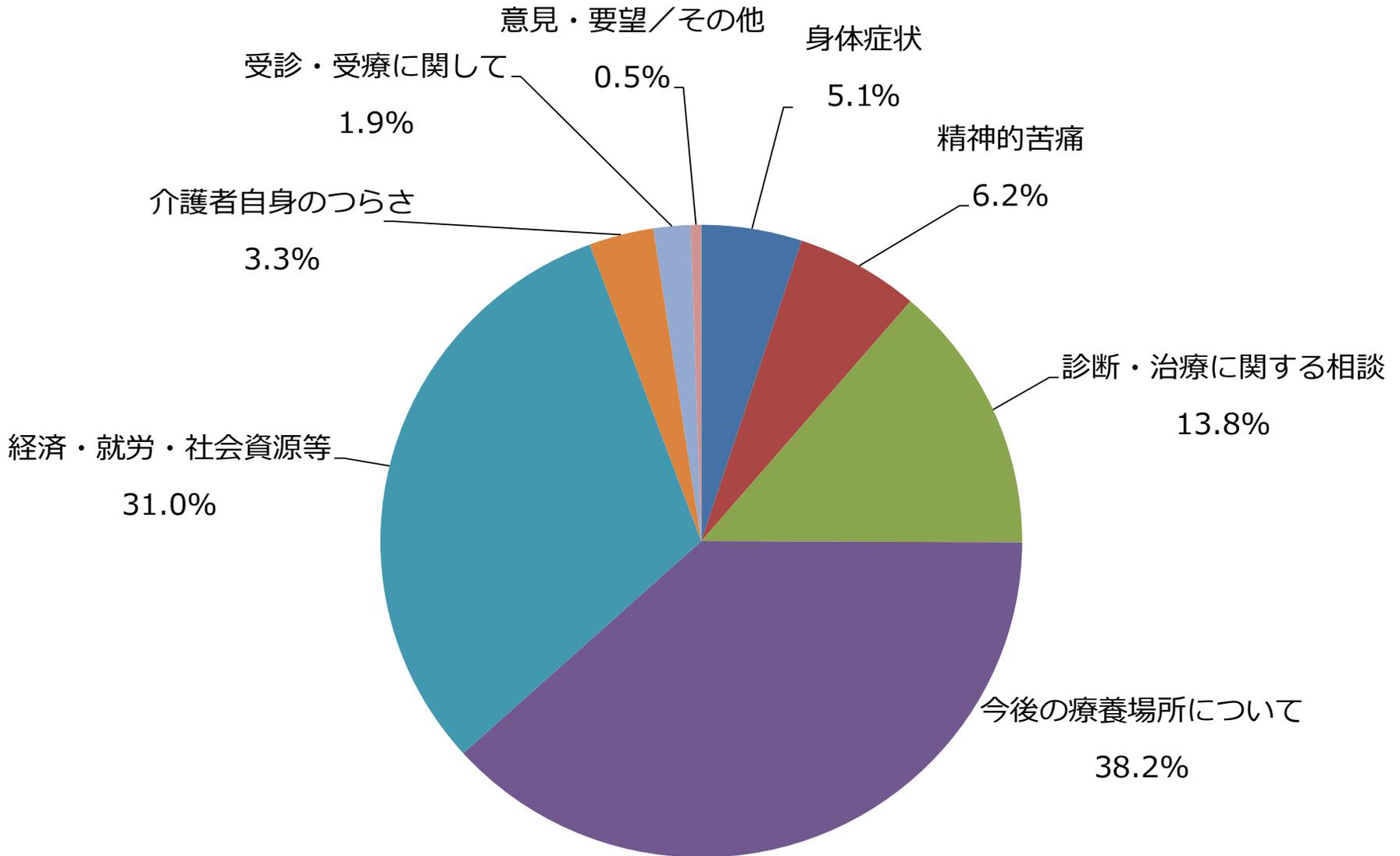
新規相談者 治療場所内訳



相談者 居住地



相談内容 内訳



療養生活に関する質問表運用と相談支援

・ 2022年10月より運用開始、2023年5月より全初診患者を対象として展開

▶実施項目

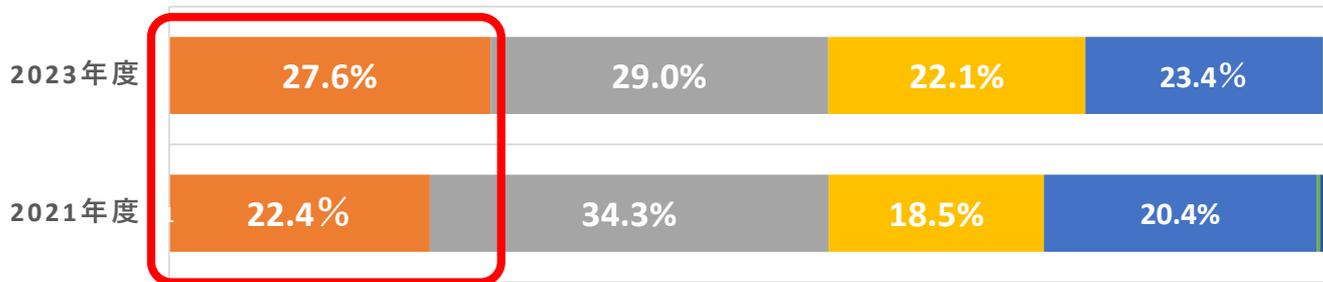
- 身体面：身体症状や医療処置
- 精神面：不安、抑うつ、認知機能
- 社会面：就労や治療費、独居、通院手段、介護など
- コミュニケーション：家族間の意見の相違、ピアサポートなど
- その他：情報支援

▶問題の整理、支援を必要とする事柄の同定、がん相談支援センターご案内

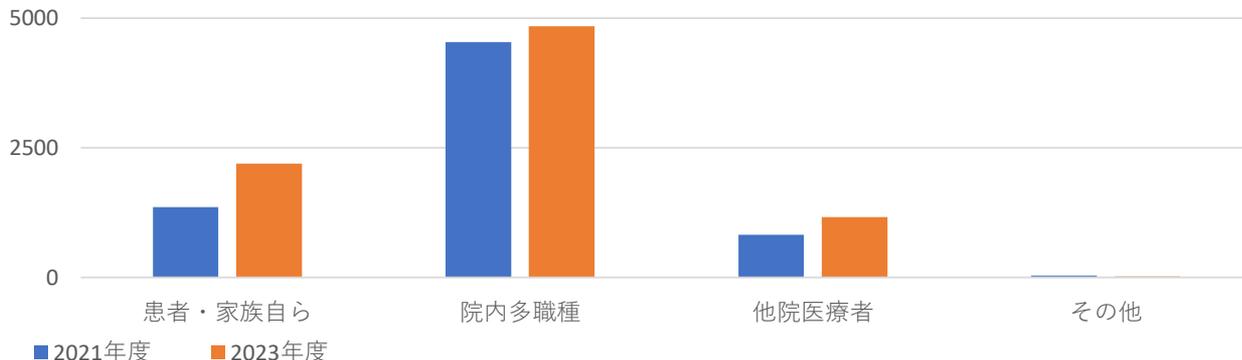
療養生活に関する質問表 パート1

療養生活に関する質問表 パート2

・ 相談支援センター利用者の治療状況の変化：より早期から相談へ



- 診断前-初回治療前
- 抗腫瘍治療中
- 治療後/経過観察中
- 緩和ケア
- 死去
- その他



“がん”になったらどうする?

がん治療、みんなの悩み

- ① 病状のこと
- ② 治療のこと
- ③ 生活のこと
- ④ お金のこと
- ⑤ 病状のこと
- ⑥ 家族のこと
- ⑦ こころのこと
- ⑧ 今後のこと

各種セミナー等の活動状況

地域や立場を超えた
がんの療養生活に関する情報支援

● サポートイブケアセンターYouTube

- 【構成】2020年度に実施した患者さん向け調査結果でニーズの高いものを優先して作成
- 【公開】8職種で協働し作成し動画作成
- 【動画再生回数】25本 127,586回



● がん患者さんのための総合支援セミナー

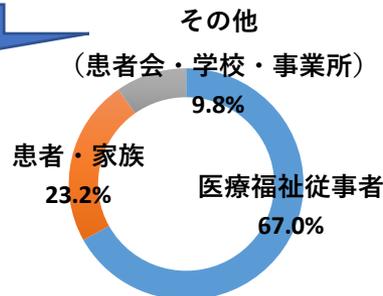
- 【構成】7職種による情報提供
- 【開催方法】WEB LIVE/アーカイブ配信あり
- 【開催実績】8月26日、1月16日/のべ810名参加



ML登録者内訳

ML登録者居住地

- * 2020年度まで：首都圏
- 2021年度：23都道府県
- 2022年度：47都道府県1,241名
- 2023年度：47都道府県1,395名**



体験者や地域とともにつくる

● 民間企業との協働（社会保険労務士・資生堂株式会社ほか）

- ・社会保険労務士，ハローワーク松戸の出張相談
- ・資生堂株式会社共催 メイクアップアドバイスセミナー
24回開催 のべ563名参加
- ・オープンキャンパスメイク体験ブース
当院医療者含め376名体験

● サポートイブケアセンター公式facebook



診療に関する情報支援

● 地域医療連携のための情報交換会

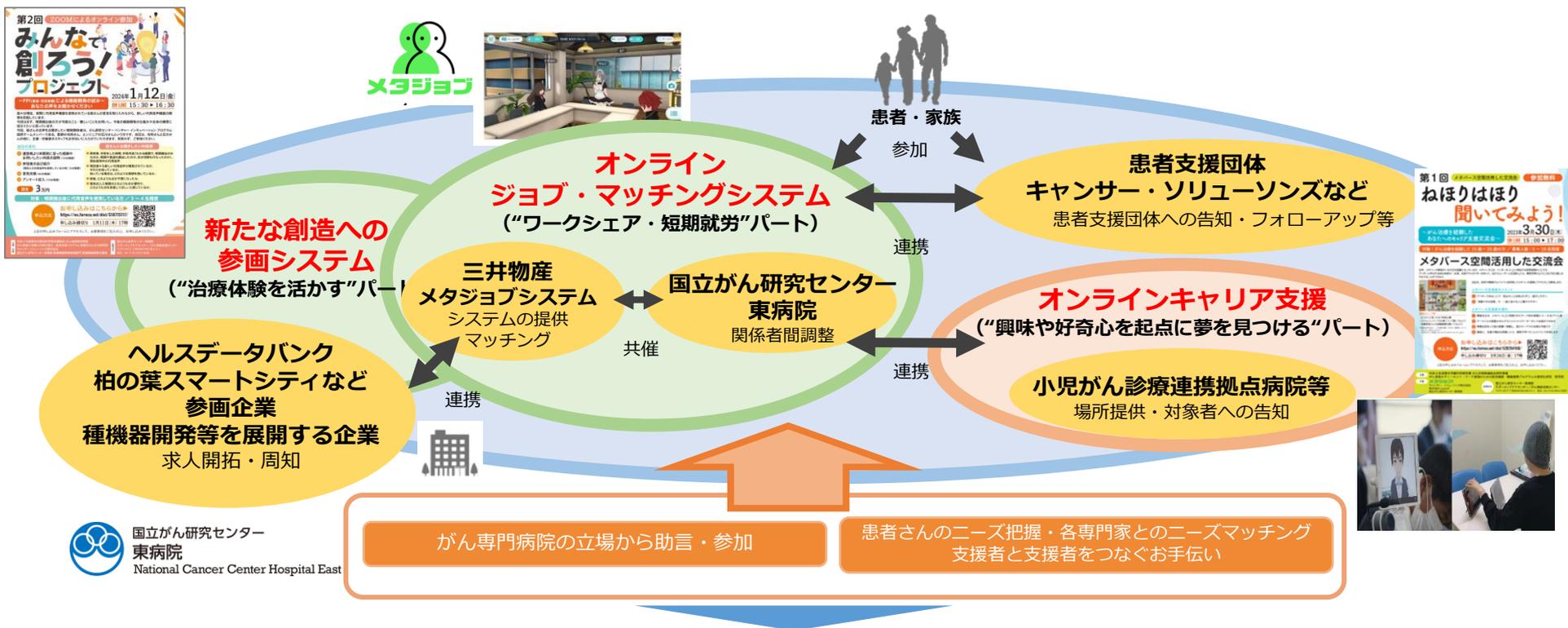
- 【対象】医療者・患者さんご家族・その他希望者
- 【形式】3年ぶりの集合形式
- 【開催実績】10月12日 180名参加



多様な働き方の創造 実証実験開始 2023-

“時間や空間を超えて” & “あなたの経験が誰かの価値になる”

- 小児・AYAがん経験者等へのキャリア支援、晩期合併症等の長期的活動制限を抱える患者や非正規雇用の患者等の短期就労の在り方を模索する
- 患者団体・民間企業・院内医療機器開発部門等と臨床の協働



実証の上、利用者数の推移や継続割合・利用のしやすさ等の観点から評価しながら最適化を目指す
機会の平等性

2024年度の予定

● 現地開催再開予定

- ▶年2回：地域医療連携のための情報交換会
- ▶10月：オープンキャンパス現地開催

● 診療・相談支援関連

- ▶リレーフォーライフ柏の葉での相談ブース展開
- ▶福島県いわき市との連携協定
- ▶AYA世代への教育支援・キャリア支援体制の模索



2023年度の様子
大津院長・相談員・柏市副市長

【その他 ご報告】

昨年は、柏市内関係各所の皆さまに、
撮影にご協力いただきました。
ありがとうございました。



3年間、
アーカイブ配信中です

→

